



# クラブ 会報

## CLUB BULLETIN (WEEKLY)

### 鶴岡ロータリークラブ

### TSURUOKA ROTARY CLUB

### D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30—13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電	話 0235 25775

会 長	小 松	広 穂
幹 事	皆 川	英 二
会報委員	上 野	三 郎
	高 橋	一 次
	内 垣	喜 俊
	板 垣	喜 俊

# No., 1047

1980. 3. 4 (火) (曇) No.34

### ウィンター紹介

笹本森雄君 ホテル 斎藤吉雄君 陶管販売 佐藤 拡 小児科医 鶴岡西R.C

### 会長・幹事報告

小松広穂君

#### 1. 理事会決議事項

(1) R. I 規定審議会が1980年6月6日～6月9日にシカゴで行なわれますが、その審議に附せられる制定案及び決議案が105項目にわたって到達して居ります。各クラブは各提案に対する態度を決定し、それを規定審議会に出席する自分たちの代表に知らせる様にしなければなりません。そのクラブ態度決定に当りましては委員会を設け審議し、その決果をクラブ態度としたいと思っております。その委員に

# LET SERVICE LIGHT THE WAY

## 奉仕の灯で 道を照らそう

鈴木弥一郎君、早坂源四郎君、三井賢二君、小松広穂君、皆川英二君、  
小池繁治君、石黒慶之助君、嶺岸光吉君、佐藤衛君

以上9名の方を選任しました。

(2) ライラ研修会には2～3名のR.A.C、I.Cの方を出席させたいと思っ  
て居ります。その登録料¥8,000及び旅費の実費はクラブに於いて負担しま  
す。

2. ガバナースレーター第5号のロータリー財団奨学生募集は応募者少き為、締  
切日を延期するとの事です。適当な該当者ありましたら申し出て頂きたいと思  
います。

皆川英二君

### 1. 遊佐R.C創立10周年記念式典ご案内

日 時 4月20日 於 遊佐公民館  
登 録 11:00～12:00  
式 典 12:00～13:00  
講 演 13:15～14:45 (小堀憲助先生)  
祝 宴 15:00～16:30

・温海R.C10周年記念エスカッションについてのお願い  
分区内クラブによる麻雀大会

と き 5月10日 夕方より

於 萬国屋 1泊 登録料 ¥15,000

・R.I第253地区浪江R.C 創立10周年記念式典御案内

と き 4月6日

ところ 如水会館 11:00点鐘

### 2. 会報到着 鹿児島西R.C

## ◆ 会員スピーチ

### 「鉄門海について」

嶺岸光吉君

私の話べたな話し、しかも貴重な時間をお借りして恐縮しております。鉄門  
海についてお話しを致しますが、皆様ご存知の事と思いますが、鉄門海は、朝  
日村の大網注連寺というお寺に安置されております。私が、鉄門海についてお  
話しをするというのは、決して私が民俗学を勉強しているのではありません。  
私が、子供の頃、よく母親に言い聞かされた事をお話ししたいと思えます。

私の実家は大宝寺、今の宝町でございます。私の隣りが酒井家の分家で、昔  
の松原御殿の入口で、私の先祖は代々桶結業つまり桶屋でございます。私の先

祖が、鉄門海と親しくしていたらしく、それで良く聞かされていたわけでございます。

鉄門海の生まれた家は、私の家から、4、5間位しか離れておりません。大宝寺の今間さんのすぐ手前が鉄門海の生まれた家で、私の小さい頃は砂田米屋といい、米屋さんでした。鉄門海の姓は砂田といい、俗名砂田の鉄といわれ、彼の職業は砂利掘りや井戸掘、木流という仕事をしていました。又若い頃京田の播磨という所で、百姓の手伝をしたり、又日雇人夫等をして働いていた一風変わった、しかも腕ききの有名な若者であったようです。

鉄が砂利掘りをしていた時、今の商業高校に通ずる橋、この橋が三次郎橋といます。昔はこの橋のわきが、船付場で、何艘もの舟が繋がれていたものです。昔の内川は水もきれいであったし、又川も深く、良く子供の頃は内川でも水泳が出来たものです。鉄はその内川を下り、赤川に出て砂利を掘っていたのです。昼飯を食べ乍ら鉄は、川の真中に入り、ああこれは有難い、ポンジが流れて来たと言って両手を合わせて川の水を飲んだという話しも聞いております。

又、鉄が仕事を終えて赤川に船を繋いで、家に帰る時どうも鉄が歩いているところを見ると、地面に足をつけて歩いているようには見えない。飛んでいるように見えたという事です。又ある時、酒井の殿様が腹が痛んで、いくら医者をやんでも、いっこうにその痛みがとまらない、その事を聞いた鉄は、よし俺が治してやるといって、御殿の中に入り、お付の押えるのを振り切って殿様の部屋に入り、寝ていた殿様の腹を布団の上から踏んだ。さあ大変、鉄はすぐ取り押えられ、その時鉄の足の裏には、梵字がついていた。殿様は腹の痛みもなくなったという話しです。

鉄は、気の強い男で、25才の時、大宝寺にたぶん昔の亀栄町、今の末広町だと思いますが遊廓があったそうです。或る時女の事で藩の武士と喧嘩となり、鉄は相手を叩き殺してしまった。鉄はその殺した武士を縄で縛り、町中をひきづり歩いたそうです。ですがその事ではさすがの鉄も困りはて、自分もこれでは首切にされると思い、その足ですぐ大網の注連寺へ逃げ込み助けを求めた。その時注連寺の第69世寛能和尚に救われ、そのまま弟子となり、家を飛び出して、鉄門海という名号をもらい、修験道の行人になったわけです。殺人事件については、武士の方が悪かったという事で藩では不問に付することで落ち着いたそうです。

寛政9年(1797年)に鉄門海は30才で仙人沢の行場に籠って修行していた。彼がまだ鉄と呼ばれていた頃、砂利掘りや井戸掘り等をしていた時に馴染んだ女郎が鉄のことを忘れかねて、朝日村の仙人沢の行場まで押しかけ、彼に迫った。余程鉄のものが良かったろうと思います。

鉄門海は、これでは修業の阻げになると思い、思い切って自分の大切なもの

を切断して、それ、おまえ（女郎）の欲しいものはこれだろう、わしには、もうこれはいらぬから持って帰れと女郎に渡した。女はしかたなく、泣き泣き大宝寺に帰り、その女郎はそれを大事にしていた。ところが不思議なことに、男の大切なものを貰ってからというもの、その女には沢山の客がついて大繁昌した。そうしたら他の女達も大切な男のものを「私にも一寸貸してくれ」というので貸してやると、またその女郎達も大繁昌したという事です。遊廓中そのものが、たらいまわしにされ、鉄門海のペニスに固く乾いたミラーとなり、最後に市内の南岳寺に納められてあるそうです。文献によりますと、根元からのものでなく、前の一部とも書かれています。

又鉄門海は、酒田に海向寺を再建し、狩川には西光寺、鶴岡には南岳寺を建てて開山となった。後には、東北地方を遍歴し、千葉や江戸にまでその名が知られるようになった。鉄門海が江戸に出た時に悪質の眼病が流行していた。鉄門海は人々が苦しむのを見て、見分の左の眼球を抜き取り、これを故郷の湯殿山の大権現に捧げ、この功德をもって江戸中の眼病人を即刻治し給えと祈願したという。鉄門海はそれで恵眼院という院号を贈られたのはこの為であるとわわれています。

60才近くになると、注連寺に帰り、3年間五穀を断ち、62才で注連寺の本堂に入定した。62才という年を選んだのは弘法大師も62才で入定したというので、62才を選んだという説もあります。

又一説によりますと、鉄門海はミイラになる前、土に穴を掘り、その中で竹筒の僅かの穴から呼吸をし、鐘を叩き乍らこもり、もし鐘の音が聞こえなくなったら、おれを掘り出してくれといったそうです。

湯殿山にお参りに来る人達が可哀想だと思い、竹からかやの実を入れてやった、そのかやの実が左か右の鼻の所についたままになったあとがあります。

砂田の鉄、つまり鉄門海は余程庶民に親しまれました。後世においては、他人に対する思いやりと、他人のために尽された事は、今彼が此の世に実在するならば、立派なロータリアンになったかもしれません。貴重な時間有難うございました。

## ◆ 皆出席表彰

### ○ 年間皆出席

7年間皆出席	板垣俊次君
4年間皆出席	迎田稔君
3年間皆出席	菅原辰吉君
2年間皆出席	川村徳男君

- 2月125%出席 2名

嶺岸君、皆川君

- 2月100%出席 53名

秋野君、阿蘇君、阿部(襄)君、張君、藤川君、早坂(源)君、早坂(徳)君、飯白君、五十嵐(三)君、石井君、石黒君、板垣(俊)君、板垣(広)君、市川君、風間君、川村君、黒谷君、小池君、小松君、三浦君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、迎田君、本山君、森田君、中江君、中野君、中村(富)君、西海君、野村君、小野寺君、斎藤(栄)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、横田君、新穂君、菅原君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、高橋(正)君、丹下君、手塚君、富樫君、上野君、鷺田君、渡会君、山口君、吉野君

## ◆ 誕 生 祝

### ◎ 会 員 誕 生

金沢春雄君、小松広穂君、皆川英二君、中野清吾君、斎藤栄作君、佐藤昇君、佐藤忠君、手塚林治君

### ◎ 奥 様 誕 生

早坂保江(徳治)様、石川徳江様、板垣智恵子(広志)様、中村邦子(真)様、嶺岸豊子様、野村初枝様、斎藤貢(栄作)様、佐藤晴子(衛)様、高橋多恵子(良士)様、高岸富士枝様

## ◆ ス マ イ ル

新穂光一郎君 ー 長男 工(タクミ)君が東京理大の建築学科に合格。

## 委員会報告

### ◎ ローター情報委員会

鈴木 弥一郎君

#### ファイアーサイド・ミーティング開催について

春を迎え、ロータリーはいよいよ活動の時期になります。昨年度は、優秀な新会員を迎え入れ今後益々発展しようとして居ります。

新会員は、一日も早くロータリーを理解しクラブに同化していただくために第2回目のファイアーサイド・ミーティングを開催致します。新しい会員の方々は勿論、先輩会員も多数ご参加激励賜われます様下記の通りご案内申し上げます。

記

期日時間 昭和55年3月18日(火)午後4時より

会場 鶴岡産業会館4階第一会議室

登録料 2,500円

研究課題 (予定)

- ① 目で見えるロータリー(スライド) 張紹淵君
  - ② ロータリアンの特典と責任 鈴木弥一郎君
  - ③ クラブ奉仕とは 副会長 嶺岸光吉君
  - ④ 職業奉仕とは 理事 中村富昭君
  - ⑤ 社会奉仕とは 理事 川村徳男君
  - ⑥ 国際奉仕とは 理事 丹下誠四郎君
- 質疑応答 早坂源四郎委員  
アドバイザー 三井賢二委員

◎終了後、(6時30分頃予定)懇親会を催しますので、引き続きご出席下さい。

出席報告

本日の出席	会員数	72名	欠席者	阿部(襄)君、阿部(与)君、中村(真)君、五十嵐(三)君、石原君、金沢君、黒谷君、三井(賢)君、本山君、中野君、熨斗君、斎藤(栄)君、佐藤(昇)君、高橋(良)君、鷺田君、山口君
	出席数	56名		
	出席率	77.78%		

前回の出席	前回出席率	79.17%	メ ア ッ ク ブ	秋野君、風間君、三井(徹)君、三井(賢)君、森田君、諸橋君、中野君、佐藤(友)君、高岸君、富樫君、上野君一鶴岡西R.C 笹原君一仙台R.C
	修正出席数	69名		
	確定出席率	95.83%		